

とちぎ高校生蔵部（栃木市）の取組

【特色】学校の垣根を越えてボランティアやまちづくりに関心のある高校生が気軽に集い、同世代の仲間だけでなく大人とも語り合いながら、自主的な活動を展開し、様々な課題解決や栃木市のにぎわいの創出に寄与することを目的に活動している。また、地域イベントにボランティアとして参加したり、イベントブースの出展をしたりしている。

取組事例

○主催事業

- ・栃木市高校生合同文化祭（毎年9月中旬開催）に参加している。
- ・栃木の街散策マップ（日本語版、英語版）を制作している。
- ・栃木市伝統文化体験事業（座敷帚製作体験）を行っている。
- ・高校生イチオシ！蔵の街魅カツアーを実施している。

○栃木市関連

- ・“あったか栃木”いじめ防止子どもフォーラム（グループコーディネーター）に参加している。
- ・FMくらら857「Tochigi high school radio」でパーソナリティーを行っている。

○市内イベント

- ・渡良瀬バルーンレース（熱気球係留ボランティア）に参加している。
- ・栃木蔵の街かど映画祭（上映会場の運営、監督等のトークショー運営）に参加している。
- ・あそ雑まつり（子ども向けイベント）の企画運営をしている。

活動の
効果

地域活動による 効果・成果

- 栃木市と市内高等学校が包括連携協定を結び、市と高等学校の連携の機会が増えた。

地域活動がうまく いっている要因

- ・学校と連携する際、高校の教員に活動趣旨を理解してもらうことや学校側から出る疑問点に対する丁寧な説明を心がけることにより、参加者を確保している。
- ・即効性のある取組ではないが、長期的に小さな活動を続けている。
- ・ボランティアサークル「とちぎ高校生蔵部 OBOG 会」を設立し、引き続きボランティアやまちづくりに関わりたい高校生の受け皿となっている。

活動しやすい環境整備の ポイント

- ・栃木市ではとちぎ高校生蔵部を介して、多様なボランティア活動の機会の提供に努めることにより、活動希望があってもどこに相談したらいいのか分からず、行動に移せていない高校生の活動参加につながる。
- ・教員からの後押し「地域活動に行ってください。」により、生徒の主体的な地域活動参加につながる。



栃木市合同文化祭パンフレット



栃木の街散策マップ

参加している生徒の声

- ・これから社会に出ていったときの考え方に関わる多くのことを知ることができるから、継続して参加しています。
- ・文化祭のようなイベントを企画することは楽しく、大人とつながれる貴重な機会になっています。